

平成23年4月27日

## シンポジウムのご案内

主催 公益社団法人日本技術士会近畿支部環境研究会  
代表幹事 安ヶ川 常孝  
共催 公益社団法人日本技術士会近畿支部  
協賛 一般社団法人エネルギー・資源学会

東日本大震災により被災された方々、ならびにご家族の方々にお見舞い申し上げます。  
環境研究会では、巨大地震に起因した津波の影響を受けて危機的状況に陥った東京電力福島第一原子力発電所の事故、ならびにインフラの基幹である電力供給の危機に鑑み、事実に基づく科学的知見、技術検証、情報発信、社会の安全意識等を整理した上で今後の考え方、方向性を示すために「原子力利用の今後と、電力安定供給のあり方」と題したシンポジウムを開催いたします。

記

日時 平成23年5月7日(土) 13:30~17:00

テーマ 「原子力利用の今後と、電力安定供給のあり方」

### 1. 基調講演 (40分)

「3・11福島原子力発電事故後のエネルギー政策について」

山地 憲治 氏 財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事・研究所長  
エネルギー・資源学会副会長 東京大学名誉教授、工学博士

### 2. パネルディスカッション

コーディネーター 山地 憲治 氏

パネリスト発表 (各20分)

1) 原子力技術者OBとして福島原子力事故とその影響を考える

金氏 顯 氏 三菱重工業株式会社 特別顧問 元常務取締役機械事業本部長

2) 運転から見た原子力発電事故の問題点と改善

大岡 五三實 氏 技術士(機械)工学博士 元大阪ガス株式会社・徳島大学教授

3) 大事故時の人の心理と情報発信のあり方

土田 昭司 氏 関西大学 社会安全学部 教授 リスク心理学・社会心理学

4) 生活者の視点から見た原発と安全

マクヒュー英美 氏 消費生活アドバイザー：消費生活、医療などの執筆等

ディスカッション (70分)

※ 議論が発散しないようにするため、お申込時に質問などをお寄せ下さい。

参加費 2,000円 (当日ご持参下さい)

定員 290名 (先着順)

場所 (財)大阪科学技術センター 8F大ホール 電話06-6443-5324  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

申込先 日本技術士会 近畿支部 TEL/FAX 06-6444-3722 E-Mail: [moushikomi@ipej-knk.jp](mailto:moushikomi@ipej-knk.jp)

問合せ先

公益社団法人 日本技術士会近畿支部 環境研究会 担当：山本泰三

Tel/Fax 06-6444-3722 携帯：090-7969-1545 E-Mail: [tyama58@gold.ocn.ne.jp](mailto:tyama58@gold.ocn.ne.jp)